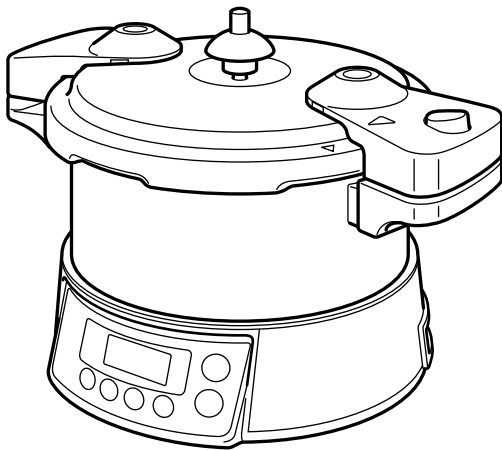


タイガー IH 圧力調理なべ

取扱説明書 保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みく
ださい。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られ
るところに必ず保管してください。



点検、修理などを依頼される時などに記入しておくくと便利です。

ご購入年月日	年	月	日
ご購入店名	TEL ()		

日本国内100V専用(交流100V以外の電源では使用できません)

もくじ

はじめに

- 1 安全上のご注意 2
- 2 各部のなまえとはたらき ... 6

使いかた

- 3 圧力調理のしかた 8
(圧力ふたを使用)
- 4 加熱調理のしかた 12
(ガラスふたを使用)
- 5 オート圧力調理のしかた ... 14
(圧力ふたを使用)
- 6 保温について 18
- 7 早く圧力ふたを開けたいときは ... 19
- 8 お手入れのしかた 20

困ったときは

- 9 故障かな?と思ったら 21

その他

- 仕様 23
- 消耗品について 23
- オートメニューの調理時間の目安 ... 23
- 連絡先 23
- 保証とサービスについて ... 裏表紙

1 安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

圧力調理中・オート圧力調理中は、加熱されると内部が極めて高温・高圧になり危険です。
以下の注意事項を必ずお守りください。

お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するために必ずお守りください。
本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

注意事項は、誤った使いかたで生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。


⚠ 警告


「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。


⚠ 注意


「傷害を負う、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の例


- 
 この絵表示は行為を「禁止」する内容です。



(分解禁止)
- 
 この絵表示は行為を「強制」したり、「指示」したりする内容です。











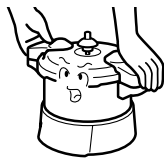
(強制・指示)



(差し込みプラグを抜く)

⚠ 警告

- 
 交流100V以外では使用しない。
火災・感電の原因。
- 
 定格15A以上のコンセントを単独で使用する。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。
- 
 電源コードは、破損したまま使用しない。また、電源コードを傷つけない。
(加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど)
火災・感電の原因。
- 
 差し込みプラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。
火災の原因。
- 
 差し込みプラグは根元まで確実に差し込む。
感電・ショート・発煙・発火のおそれ。
- 
 電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因。
- 
 ぬれた手で、差し込みプラグの抜き差しをしない。
感電やけがをするおそれ。
- 
 加圧中は、無理にふたを開けない。
やけどやけがの原因。
ふたを開けるときは、必ず圧力表示ピンが下がっていることを確認し、おもりを傾けて蒸気が出ないことを確かめてから行うこと。



⚠ 警告

- 
 蒸気孔に顔や手を近づけない。
やけどをするおそれ。
特に乳幼児には、さわらせないように注意すること。


- 
 子供や取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない。
やけど・感電・けがをするおそれ。


- 
 乳幼児が誤って器具用プラグをなめないように注意する。
感電やけがの原因。


- 
 器具用プラグにごみやピンなどを付着させない。
感電・ショート・発火の原因。






- 
 水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電のおそれ。


- 
 改造はしない。
修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない。
火災・感電・けがの原因。
- 
 吸・排気孔やすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。
感電や異常動作によるけがのおそれ。


- 
 トッププレートに衝撃を与えない。
万が一ひびが入って割れた場合、そのまま使うと過熱や異常動作・感電の原因。このような場合は、コンセントから差し込みプラグを抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。



⚠ 注意

- 
 不安定な場所や、熱に弱い敷物の上では使用しない。
転倒によるやけどやけが、火災の原因。
- 
 水のかかる所や、火気の近くでは使用しない。
感電や漏電・本体の変形や火災・故障の原因。
- 
 壁や家具の近くでは使用しない。
蒸気や熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因。
- 
 専用の電源コード以外は使用しない。
また、電源コードは他の機器に転用しない。
感電・漏電・火災・故障の原因。

⚠ 注意

なべは不安定な状態で使用しない。トッププレートの縁の突起に乗り上げた状態で使用すると、落下などによりやけどやけがの原因。

吸・排気孔をふさぐような場所や、室温の高い場所では使用しない。テーブルクロス・カーペット・ビニール袋などの上には置かない。感電や漏電、火災・故障の原因。

なべとっ手やガラスふたのつまみがグラグラするときは、締め直してから使用する。そのまま使うと、とっ手やふたつまみはずれて、やけどやけがをする原因。

センターセンサーに衝撃を与えない。損傷した場合、そのまま使うと過熱や異常動作、感電の原因。

から炊きや過熱をしない。やけどや調理物の発火、なべの破損のおそれ。

調理以外の目的で使用しない。

なべ単体を他の熱源にかけない。故障や変形の原因。

専用なべ以外を本体にセットして使用しない。故障や変形の原因。

缶詰やアルミはくなど、専用なべ以外のものはのせない。破裂したり赤熱して、けがや、やけどをするおそれ。

なべの下に紙などを敷かない。熱で紙がこげるおそれ。

天ぷらなど、揚げ物調理に使用しない。過熱により、発火するおそれ。

本体になべをのせたまま移動させない。なべが落下して、けがややけど、故障の原因。

使用中や使用直後は、高温部にふれない。やけどの原因。

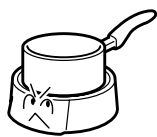
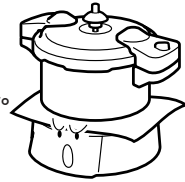
使用後しばらくは、トッププレートにふれない。やけどの原因。

使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜く。けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

必ず差し込みプラグを持って引き抜く。感電やショートして、発火するおそれ。

お手入れは、冷えてから行う。高温部にふれることによるやけどのおそれ。

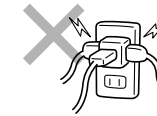
植込み型ペースメーカー等をお使いの方は、本製品のご使用にあたって医師とよく相談する。本製品の動作により、ペースメーカーに影響を与えるおそれ。



お願い

取り扱いがていねいに。落としたり、強い衝撃を加えたりすると、けがや故障の原因。

タコ足配線はしない。火災のおそれ。



次のような場所では使用しない。
 ・ビニール製などの熱に弱いテーブルクロスの上。
 ・たたみ・じゅうたんなどの上。
 ・熱に弱いテーブルやワゴンの上。
 ・カーテンなどの近く。
 変形や跡形がついたり、こげたり、故障・感電・火災の原因。

おもりやノズルキャップ・ノズルの穴がつまったらまで使用しない。故障の原因。

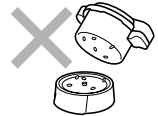
ノズルキャップをつけずに使用しない。調理物がつまり、故障の原因。

3分の2以上の内容物を入れて使用しない。特に豆のいのように煮炊きによって分量が増えるものは、3分の1以上の内容物を入れて使用しない。うまく調理できなかつたり、故障の原因。なべ内側の最高水位・豆のいを目盛以下で使用すること。(P6参照)

重曹など急激に熱反応して発泡するもの、多量の油などは危険であるため調理に使用しない。なお、カレーやシチューのルーなど粘性が強く糊状になるものを使用する場合は、圧力ふたをはずし、加熱調理(圧力を加えない調理)を行うこと。(P12・13参照)

傷んだパッキンを使用しない。また、材料をパッキンの上ののせない。調理物がふき出す原因。

ごはんつぶなどの異物をつけたまま使用しない。故障の原因。



トッププレートに金属製の小物(ナイフ)などを置かない。加熱されて、やけどのおそれ。

調理中は本体を移動しない。やけどの原因。

ふたを取るとき、蒸気に触れないように注意する。やけどのおそれ。

丸洗いはしない。本体・電源コードを丸洗いしたり、本体内部や底部に水を入れたりしない。ショート・感電のおそれ。

磁力線が出ているので、磁気に弱いものを近づけない。

テレビ・ラジオなどは、雑音の入るおそれ。キャッシュカード・自動改札用定期券・カセットテープ・ビデオテープなどは、記憶が消えるおそれ。

なべは、ご使用前に洗ってください。(P20参照)

機能・性能を維持するため、製品に穴を設けておりますが、この穴から、まれにほこりや虫が入ることがあります。外観上・機能上支障のある場合は、弊社までお問合せください。

なべが変形や腐食した場合は、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。

説明マークについて

本文中に記載されている説明マークは、下記の意味があります。



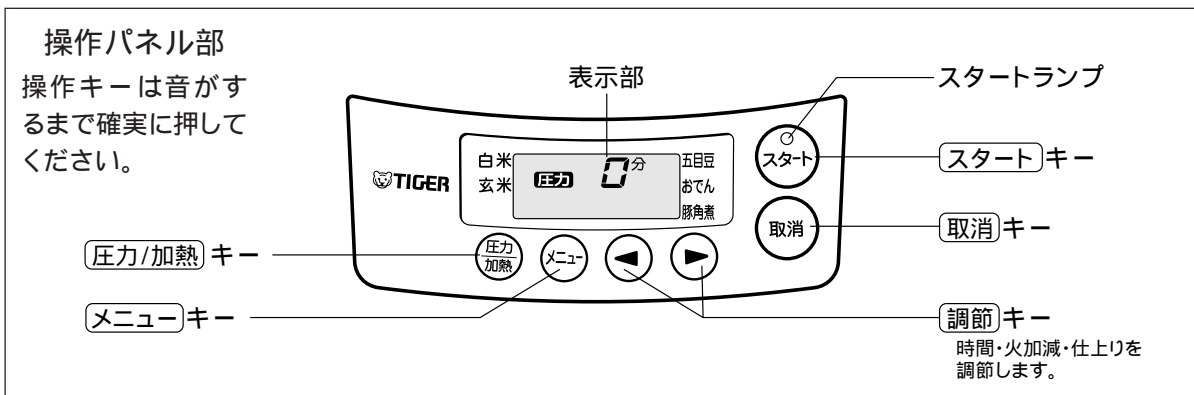
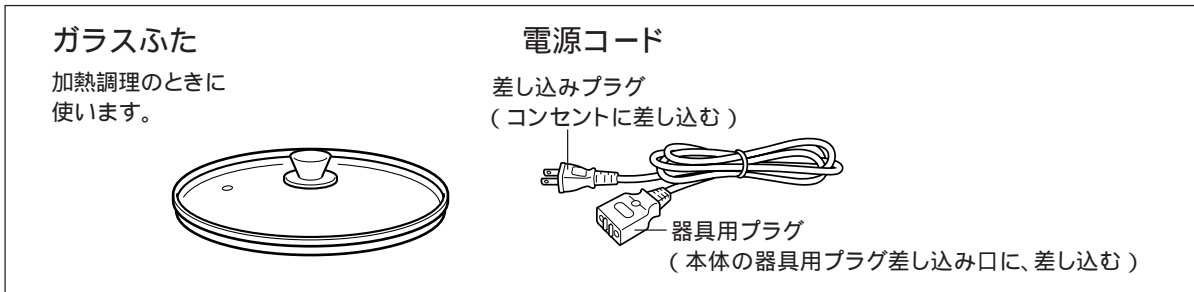
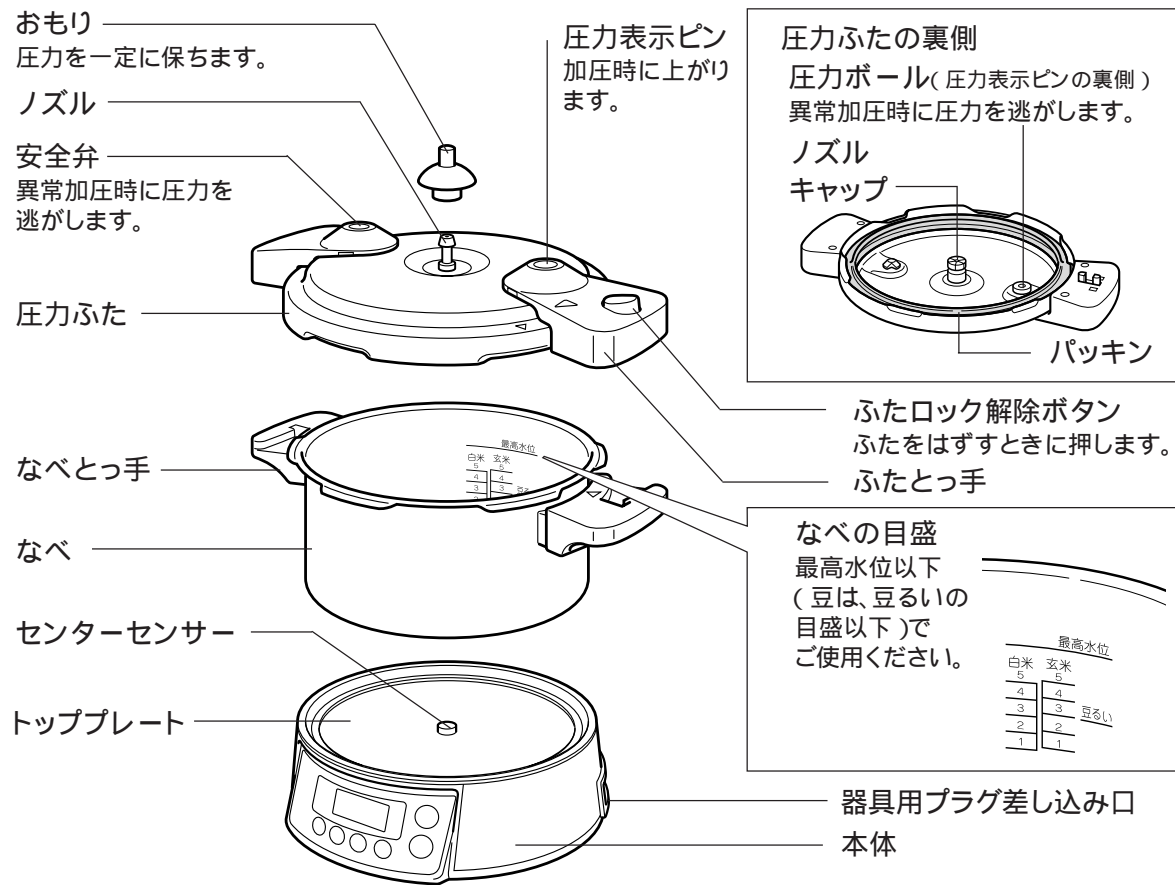
おいしく調理するためや、商品が未永くお使いいただくためのご注意を記載しています。



操作が適切でないときのブザー音や、ファン・IHが作動する音などについてご説明しています。

キーを押したときのブザー音やその他の音は、文中や説明図に記載しています。

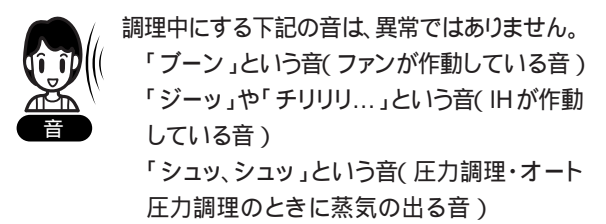
2 各部のなまえとはたらき



付属品の確認

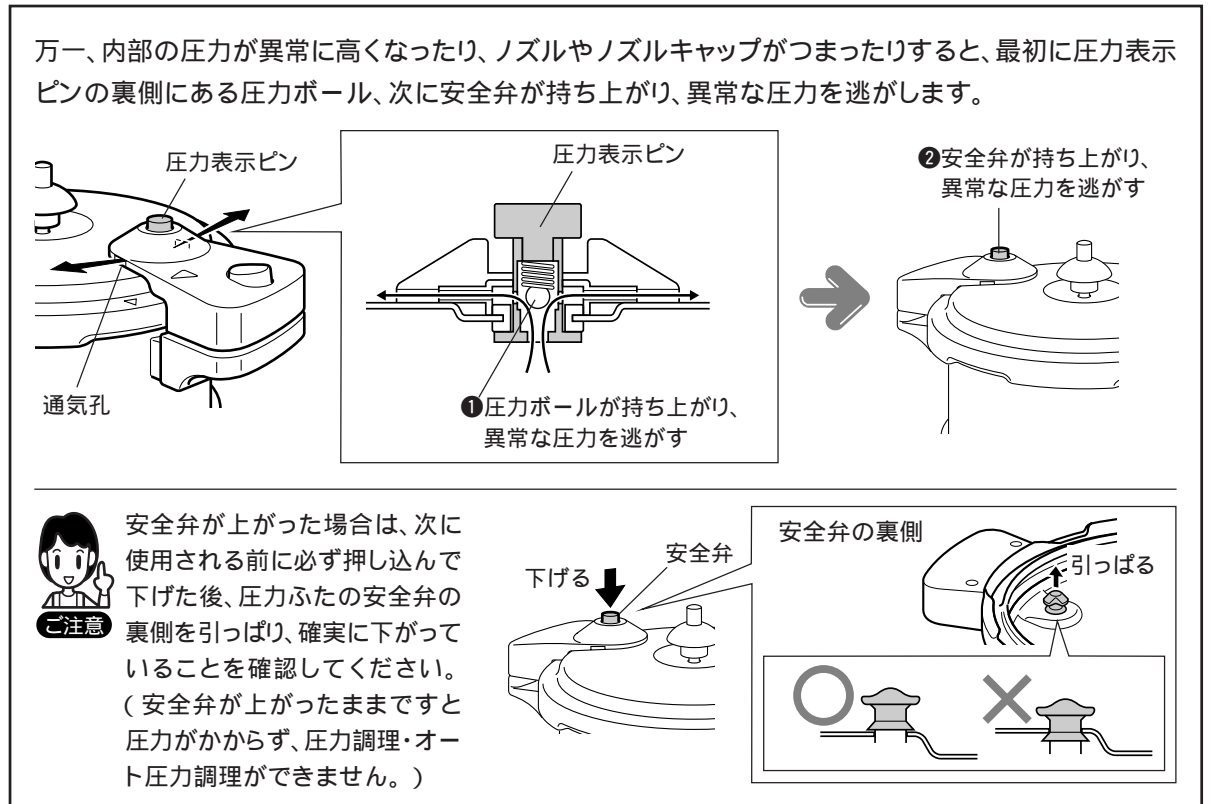
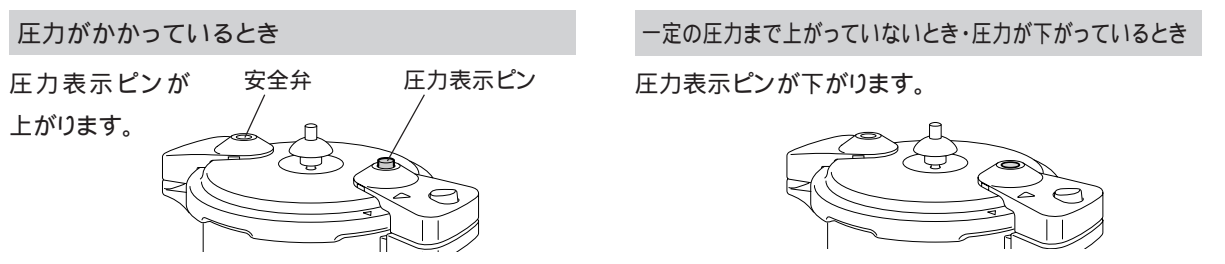


音について



安全装置について(圧力調理・オート圧力調理の場合)

圧力調理・オート圧力調理の場合、調理を開始して圧力がかかると、圧力表示ピンが上がります。一定の圧力まで上がっていないとき・調理が終わって圧力が下がったときは、圧力表示ピンが下がります。



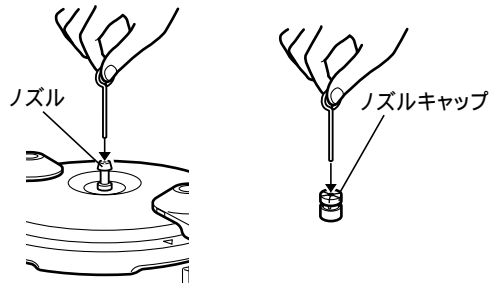
3 圧力調理のしかた (圧力ふたを使用)

料理の作り方は、別冊の「クッキングブック」をご参照ください。

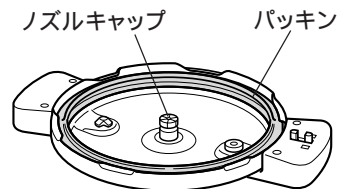
1 なべに材料を入れる
最高水位より多く入れないでください。
(豆は豆の目の盛りより多く入れないでください。)

2 ノズル・ノズルキャップの穴が
つまっていないか確認する

つまっているときは、付属の掃除用ピン
で取り除く。(P20参照)

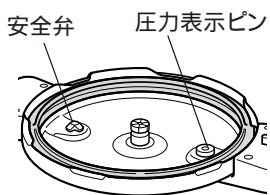


3 圧力ふたにパッキン・ノズル
キャップが確実に付いている
ことを確認する(P20参照)

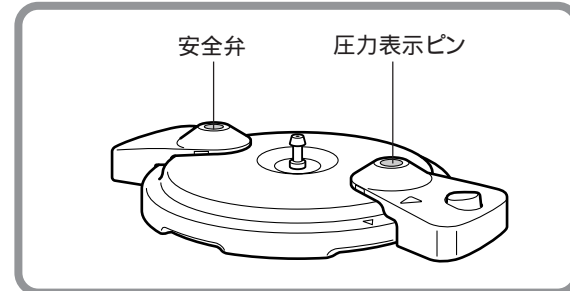


4 圧力表示ピン・安全弁に異物が
はさまっていないか確認する

はさまっているときは、やわらかい
スポンジで洗って取り除く。
(P20参照)

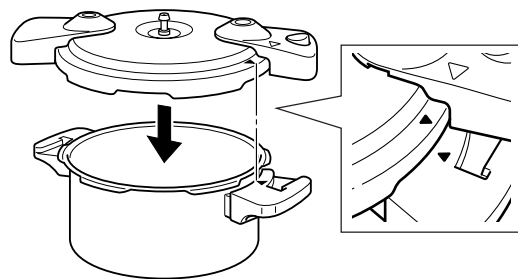


5 圧力表示ピンが動くこと、
安全弁が下がっていること
を確認する(P7参照)

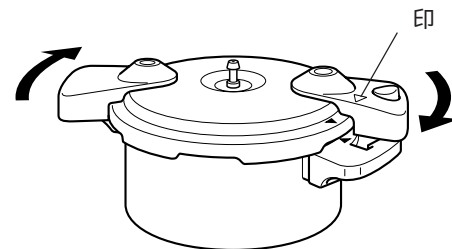


6 圧力ふたをしめる

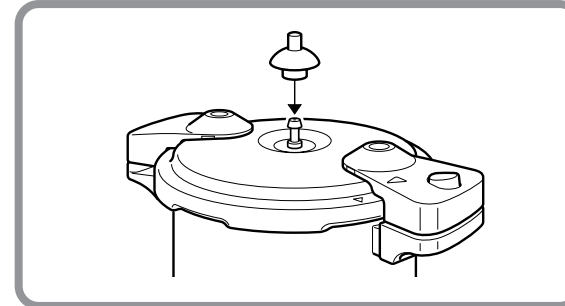
圧力ふたの と なべとっ手の の 印
を合わせる。



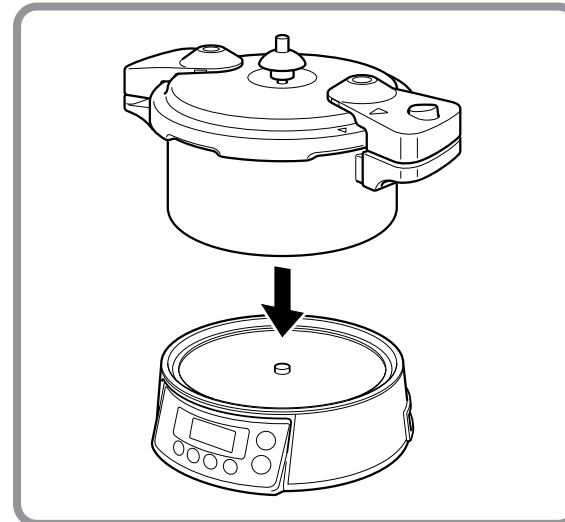
圧力ふたを、ふたとっ手の 印の方
向にまわして確実に固定する。



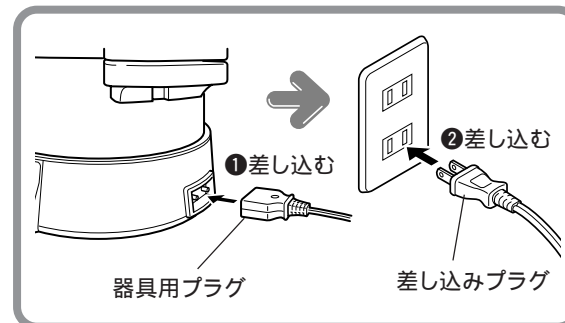
7 おもりをセットする



8 なべを本体にのせる



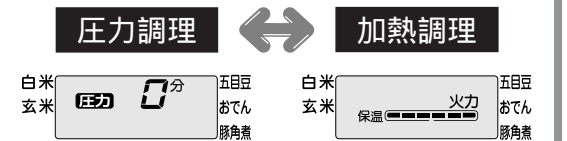
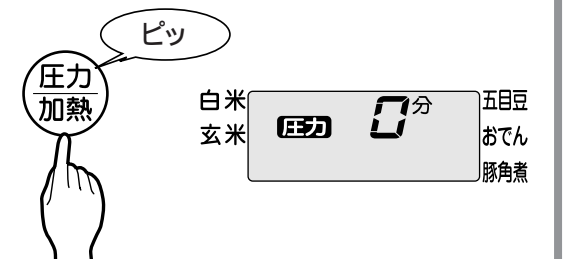
9 器具用プラグを本体に、
差し込みプラグを
コンセントに差し込む



10 圧力調理時間をセットする

「圧力」が表示されていることを確認
する。

表示されていない場合は、**圧力/加熱**キー
を押して、「圧力調理」を選択してくださ
い。
(押すごとに「圧力調理」と「加熱調理」が
切り替わります。)



調節 キーを押して圧力調理時間を
セットする。

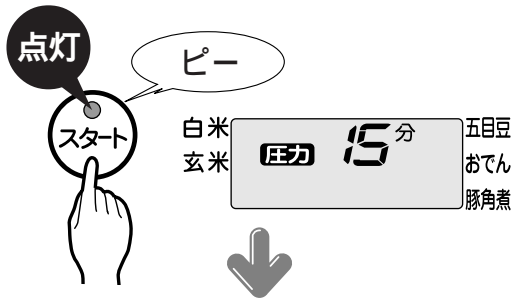
時間は1～59分までセットできます。
▶ キーを押すごとに時間は1分ずつ増え
◀ キーを押すごとに1分ずつ減ります。
押し続けると早送りになります。



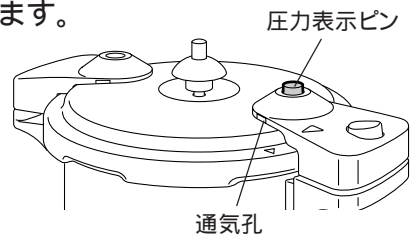
11 スタート キーを押す

圧力調理が開始されます。

調理時間は、圧力調理開始後、なべ内の圧力が上がるまで動きません。

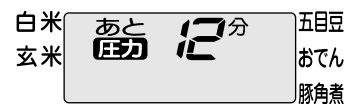


調理が進むと、なべ内の温度が上がり圧力がかかって、圧力表示ピンが上がります。



圧力が安定する前に、おもりや圧力表示ピンの通気孔から2～3分間蒸気もれることがありますが、異常ではありません。

表示部に調理の残り時間が表示されます。



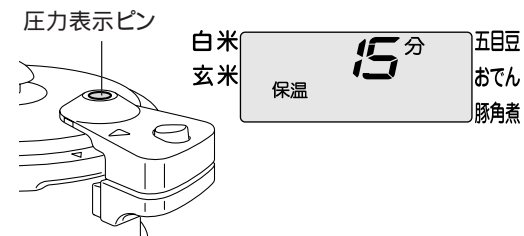
調理中は、おもり・圧力表示ピン・安全弁にさわらないでください。

自動的に保温に切り替わります。

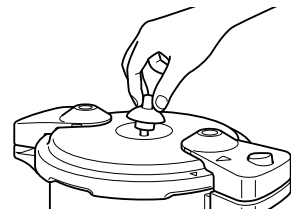


12 圧力表示ピンが下がるまで10～15分むらす

表示部に保温経過時間が表示されます。圧力表示ピンが下がるまで10～15分むらします。

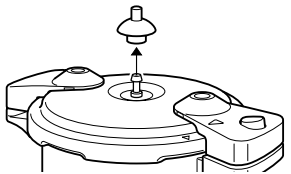


13 おもりを傾け、蒸気が出ないことを確認する



おもりを傾けるときは、自分の方に向けないでください。蒸気でやけどをするおそれがあります。

14 おもりをはずす

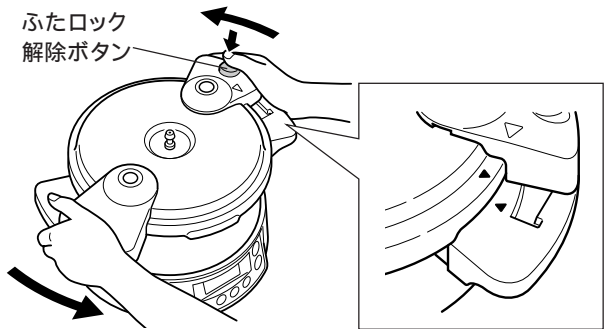


必ず蒸気が出ないことを確認してからおもりをはずしてください。圧力が残っているときにすぐにおもりをはずすと、煮汁などがふき出してやけどをするおそれがあります。

15 圧力ふたをはずす

ふたロック解除ボタンを押しながら図の方向に少しまわし、いったんとめる。(内部に圧力が残っている場合は、圧力ふたのすき間から蒸気が出ます。)

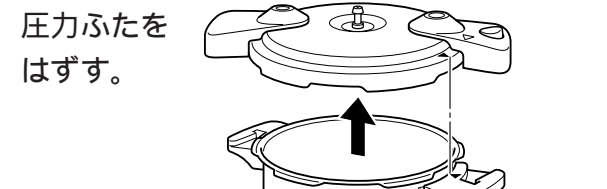
蒸気が出なくなったら、さらにふたとっ手を図の方向にまわし、圧力ふたのとなべとっ手の印を合わせる。



まわしすぎると、圧力ふたがはずれないのでご注意ください。



圧力ふたは、必ず両手ではずしてください。ふたとっ手をまわすときに重く感じた場合は、無理に開けず、再度おもりをつけて水で冷やした後(P19参照)、13～15の手順で圧力ふたを開けてください。金属部分が熱くなっていますので、やけどにご注意ください。



16 調理物を取り出す

保温するときは、P18をご参照ください。

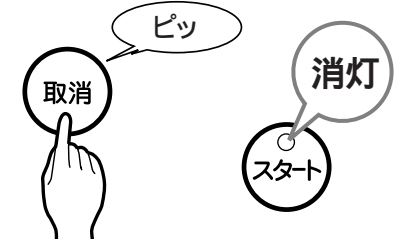


長時間の保温はしないでください。保温は3時間以内にし、調理物が残った場合は別の容器に移し、できるだけ早めにお召上がりください。本体からなべをはずすと、保温が取り消されますのでご注意ください。

17 使い終わったら

取消 キーを押す。

スタートランプが消灯します。



器具用プラグ・差し込みプラグを抜く。

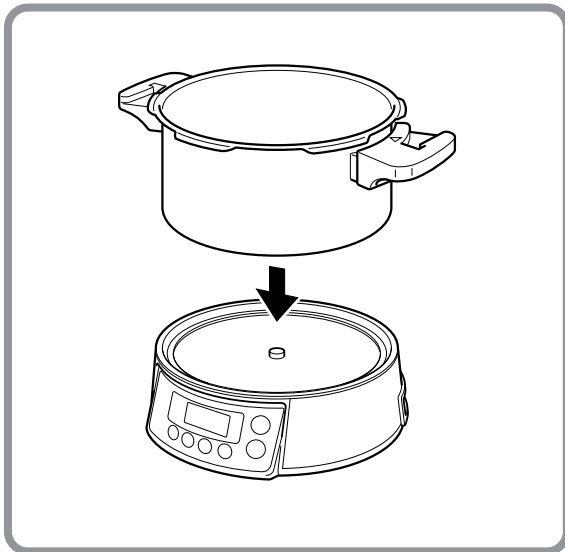
4 加熱調理のしかた (ガラスふたを使用)

料理の作り方は、別冊の「クッキングブック」をご参照ください。
加熱調理は、下ごしらえや仕上げなどにお使いください。



圧力調理の仕上げとして加熱する場合などで保温になっているときは、**取消** キーを押してスタートランプを消灯させてください。また、おもり・圧力ふたはP10・11の要領ではずしてから行ってください。

1 なべを本体にのせる



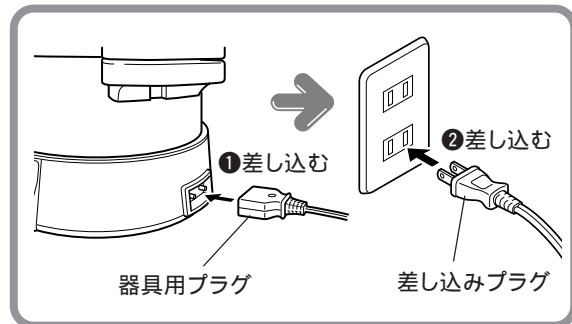
2 なべに材料を入れる

最高水位より多く入れないでください。

煮込みなどの場合は、
ガラスふたを使用してください。



3 器具用プラグを本体に、差し込みプラグをコンセントに差し込む



4 **圧力/加熱** キーを押して「火力」を選択する

押しごとに「圧力調理」と「加熱調理」が切り替わるので「加熱調理」を選択する。

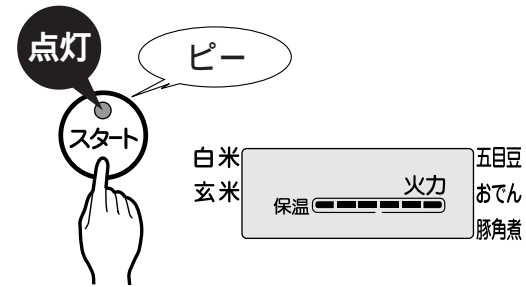
圧力調理 ↔ **加熱調理**

白米 玄米 **圧力** 5分 五目豆 おでん 豚角煮 | 白米 玄米 **保温** 火力 五目豆 おでん 豚角煮

スタート キーを押す前は、火力の調節ができません。

5 **スタート** キーを押す

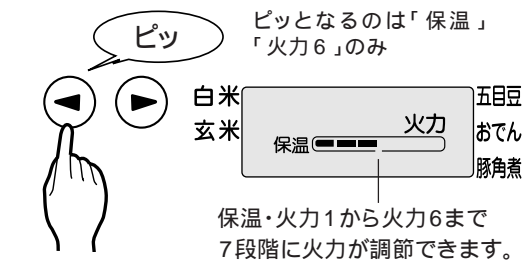
加熱調理が開始されます。



6 火力の調節をする

調節 キーを押して火力を調節する。

- ◀ キーを押すと火力は弱くなり、
- ▶ キーを押すと強くなります。



火力調節の目安

	表示部	温度	火力
保温	保温 火力	約80	-
火力1	保温 火力	-	約 300W
火力2	保温 火力		約 500W
火力3	保温 火力		約 700W
火力4	保温 火力		約 900W
火力5	保温 火力		約1100W
火力6	保温 火力		約1300W

保温するときは、P18をご参照ください。

7 加熱調理が終わったら **取消** キーを押す

60分以上加熱調理を続けると、切り忘れ防止機能の働きで、自動的に加熱調理が切れます。

取消 キーを押す

火力の調節で「保温」にしていた場合は、60分以上加熱調理を続けても自動的に切れません。保温を中止するときには、**取消** キーを押してください。

8 調理物を取り出す

調理物が残った場合は別の容器に移し、できるだけ早めにお召し上がりください。

9 使い終わったら 器具用プラグ・差し込みプラグを抜く

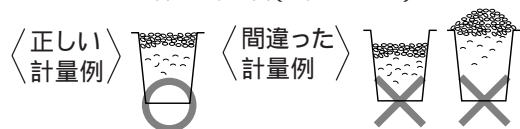
5 オート圧力調理のしかた (圧力ふたを使用)

白米・玄米の炊きかた

料理の作り方は、別冊の「クッキングブック」をご参照ください。

1 お米をはかる

必ず付属の計量カップではかります。
すりきり一杯で約1合(約0.18L)



2 お米を洗う

なべで洗米できます。



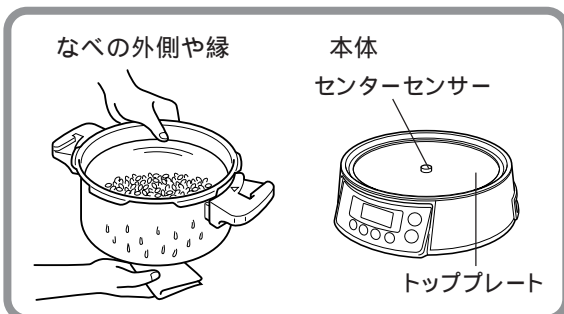
3 お米をなべに入れ、水加減する

なべを水平に置き、なべ内側の目盛に合わせて水加減します。

「白米」「玄米」は、1～5合まで炊飯できます。目盛は目安です。お好みにより水加減を調節してください。

最高水位		
白米	玄米	
5	5	
4	4	
3	3	豆るい
2	2	
1	1	

4 下記の場所についての水滴・米つぶなどをふき取る



5 8・9ページの2～9の要領で、圧力ふたをしめておもりをセットし、なべを本体にのせ、プラグを差し込む

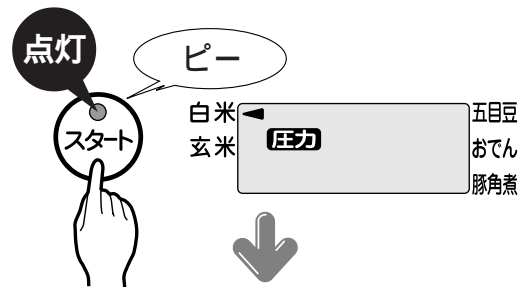
6 「メニュー」キーを押して「白米」または「玄米」を選択する

「メニュー」キーを押すと「ピッ」と音が鳴ります。押しごとに「<」が移動し、メニューが順番に変わります。

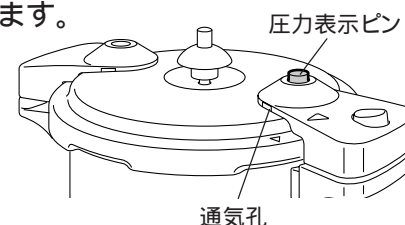
あらかじめメニューが選択されている場合は、メニュー選択の必要はありません。

7 「スタート」キーを押す

オート圧力調理が開始されます。



調理が進むと、なべ内の温度が上がり、圧力がかかって圧力表示ピンが上がります。



圧力が安定する前に、おもりや圧力表示ピンの通気孔から2～3分間蒸気がもれることがあります。異常ではありません。

表示部に調理の残り時間が表示されます。



調理中は、おもり・圧力表示ピン・安全弁にさわらないでください。

「ピーピーピー」と音が鳴り、自動的に保温に切り替わります。



8 10・11ページの13～15の要領で、おもり・圧力ふたをはずす

9 ごはんをほぐす

炊きあがったら、必ずすぐにごはん全体をほぐしてください。

ごはんを充分にほぐすことで、余分な水分が蒸発しておいしくいただけます。

保温するときは、P18をご参照ください。



長時間の保温はしないでください。保温は3時間以内にし、ごはんが残った場合は別の容器に移し、できるだけ早めにお召し上がりください。

本体からなべをはずすと、保温が取り消されますのでご注意ください。

10 使い終わったら

「取消」キーを押す。

スタートランプが消灯します。



器具用プラグ・差し込みプラグを抜く。



「取消」キーを押した後、なべにごはんが残ったままで放置すると、なべ底に模様(ライスマーク)がつきます。ごはんは別の容器に移し、早めにお手入れしてください。(お手入れのしかたはP20参照)

五目豆・おでん・豚角煮の調理のしかた

料理の作り方は、別冊の「クッキングブック」をご参照ください。

1 なべに材料を入れる

最高水位より多く入れないでください。(五目豆は豆のいの目盛りより多く入れないでください。)

2 8・9ページの2～9の要領で、圧力ふたをしめておもりをセットし、なべを本体にのせ、プラグを差し込む

3 **メニュー** キーを押して「五目豆」「おでん」「豚角煮」のメニューのいずれかを選択する



押すごとに ◀ ▶ が移動し、メニューが順番に変わります。



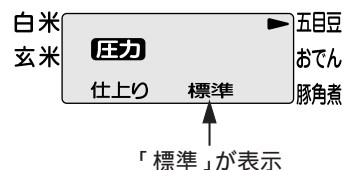
あらかじめメニューが選択されている場合は、メニュー選択の必要はありません。

4 **調節** キーを押して、仕上り(標準・強・弱)を選択する

「標準」・・・ふつうのかたさに仕上がります。
「強」・・・やわらかめに仕上がります。
「弱」・・・かために仕上がります。

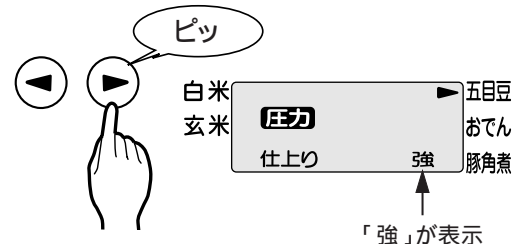
標準の場合

仕上り選択の必要はありません。



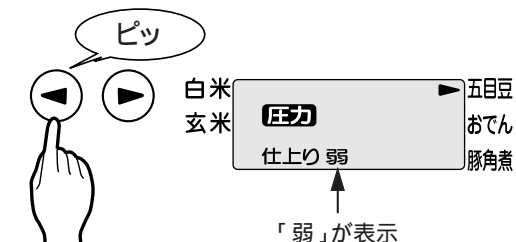
強の場合

▶ キーを押して選択する。



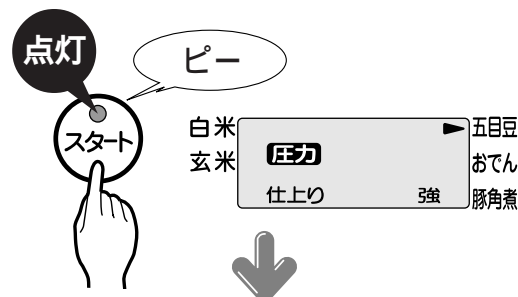
弱の場合

◀ キーを押して選択する。

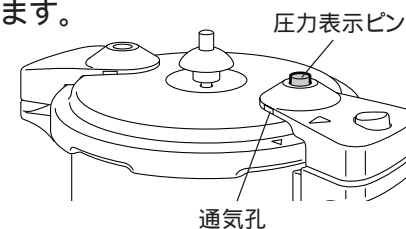


5 **スタート** キーを押す

オート圧力調理が開始されます。

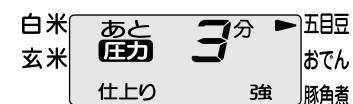


調理が進むと、なべ内の温度が上がり、圧力がかかって圧力表示ピンが上がりま

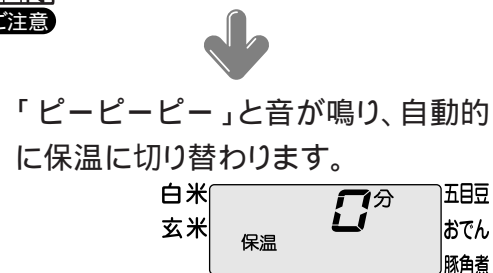


圧力が安定する前に、おもりや圧力表示ピンの通気孔から2～3分間蒸気がもれることがあります、異常ではありません。

表示部に調理の残り時間が表示されます。



調理中は、おもり・圧力表示ピン・安全弁にさわらないでください。



6 10・11ページの13～15の要領で、おもり・圧力ふたをはずす

7 調理物を取り出す

保温するときは、P18をご参照ください。



長時間の保温はしないでください。保温は3時間以内にし、調理物が残った場合は別の容器に移し、できるだけ早めにお召し上がりください。本体からなべをはずすと、保温が取り消されますのでご注意ください。

8 使い終わったら

取消 キーを押す。

スタートランプが消灯します。



器具用プラグ・差し込みプラグを抜く。

6 保温について

保温は補助的機能です。調理終了後は、できるだけ早くお召し上がりください。

保温について

圧力調理・オート圧力調理が終了すると、自動的に保温に切り替わります。加熱調理は、火力調節で保温にすることができます。(P13参照) 保温を中止するときは、**取消**キーを押してください。



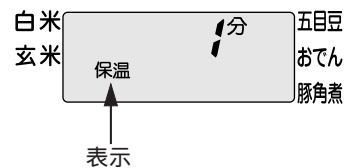
長時間の保温はしないでください。

保温中の作動について

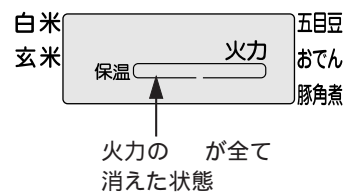
保温中はスタートランプが点灯し、下記のように表示されます。



圧力調理・オート圧力調理の場合



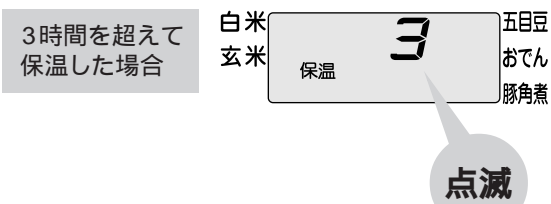
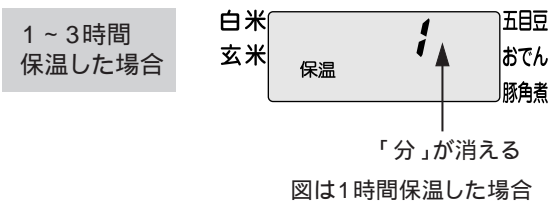
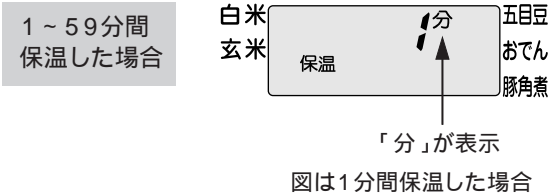
加熱調理の場合



保温中、本体からなべを持ち上げると保温が取り消されますので、ご注意ください。

保温経過時間の表示について

圧力調理・オート圧力調理保温中は、保温経過時間が表示されます。保温経過時間は1～59分まで1分単位で表示された後、1～3時間まで1時間単位で表示されます。3時間を超えると、「3」が点滅してお知らせします。

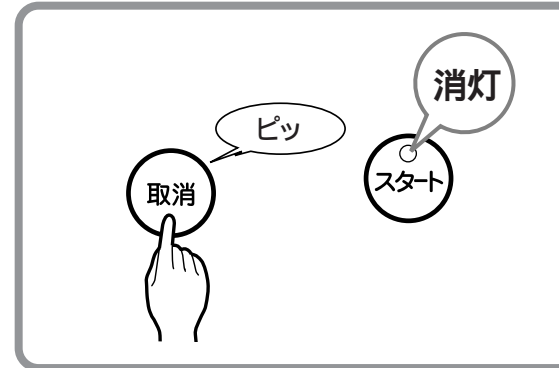


加熱調理の保温は、保温経過時間が表示されません。また、保温は自動的に切れませんので、保温を中止するときは**取消**キーを押してください。

7 早く圧力ふたを開けたいときは

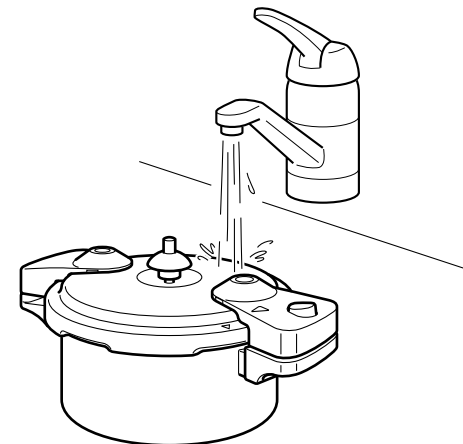
圧力調理時・オート圧力調理時に、早く圧力ふたを開けたいときは、以下の手順で行ってください。

1 **取消**キーを押す



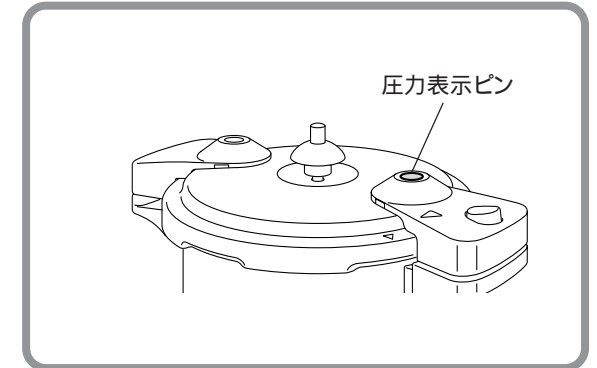
2 なべを本体からはずし、約60秒水をかける

約60秒で圧力は下がります。



なべを水の中につけないでください。なべを本体に戻す場合は必ず外側の水気をふき取ってください。

3 圧力表示ピンが下がったことを確認する



4 10・11ページの13～15の要領でおもり・圧力ふたをはずす

使いかた

8 お手入れのしかた

ご使用後は、いつまでも清潔にご使用いただくために、必ずその日のうちにお手入れしてください。(本体・電源コード以外は丸洗いできます。)

注意 差し込みプラグを抜き、冷えてからお手入れする。



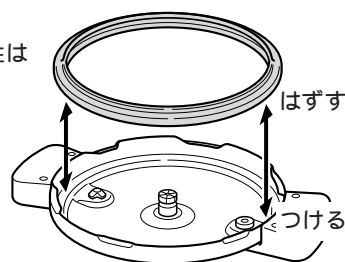
台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)以外(シンナー・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなど)は使わないでください。

食器洗浄機や食器乾燥器などの使用はしないでください。変形するおそれがあります。パッキン・ノズルキャップは、確実に取りつけてください。

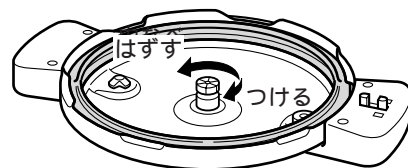
各部	お手入れのしかた
	<p>水またはぬるま湯で、やわらかいスポンジで洗う。乾いた布で水分をふき取り、十分に乾燥させる。ノズル・ノズルキャップの穴が詰まっているときは、付属の掃除用ピンを差し込んで取り除いてください。</p> <p>圧力表示ピン・安全弁に異物をはさまっているときは、やわらかいスポンジで洗って取り除いてください。</p> <p>かたくしぼった布で、汚れをふき取る。こげついたごはんつぶ・米つぶなどの異物がセンサーについている場合は取り除く。取れにくい場合は、市販のサンドペーパー(320番程度)で取り除き、かたくしぼった布でふき取る。</p> <p>注意 本体内部へは、絶対に水が入らないようにしてください。</p>

パッキンのはずしかた・つけかた

パッキンに上下の方向性はありませぬ。



ノズルキャップのはずしかた・つけかた



9 故障かな?と思ったら

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。

下記の点検・処置をしても改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

樹脂成形品について

熱や蒸気にふれる成形品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。

警告 修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない。

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください	参照ページ
キーを押しても作動しない	差し込みプラグが抜けていませんか。	差し込みプラグをコンセントに確実に差し込んでください。	2
	保温状態になっていませんか。	取消 キーを押して、保温を取り消してから操作してください。	18
	表示部に「E」が表示されていませんか。	本体をカーペットなどの上に置いて、吸・排気孔がふさがれて本体内部の温度が上昇した場合や、温度の高い場所に置いた場合、キーを押しても反応しないことがあります。そのようなときは、以下の手順で処置してください。 差し込みプラグを抜く。 吸・排気孔がふさがれない場所・温度の低い場所へ移動する。 再度、差し込みプラグをコンセントに差し込み、キー操作を行う。 それでも反応しない場合は本体の異常です。差し込みプラグを抜いた後、お買い上げの販売店にご相談ください。	-
圧力/加熱 キー・ スタート キーを押すと「ピピピ」と音がして作動しない(圧力調理・加熱調理)	なべがセットされていますか。 圧力調理時間をセットしていますか。(圧力調理のみ)	なべをセットしてください。 圧力調理時間が0分の状態では作動しません。圧力調理時間をセットしてから スタート キーを押してください。	9・12 9
スタート キーを押しても、調理時間が動かない(圧力調理)	調理時間は、圧力調理開始後、なべ内の圧力が上がるまで動きません。なべ内の圧力が一定になると、調理の残り時間が1分きざみでカウントダウン表示されます。		10
火力の調節ができない(加熱調理)	スタート キーを押す前に、火力調節をしていませんか。	スタート キーを押してから、火力調節してください。	12・13
調理中・保温中に音がする	「ブーン」という音がする。	ファンが作動している音です。故障ではありません。	7
	「ジューッ」や「チリリリ・・・」という音がする。	IHが作動している音です。故障ではありません。	7
	「シュッ、シュッ」という音がする。(圧力調理・オート圧力調理のみ)	蒸気の音です。故障ではありません。	7
	上記の音とはまったく異なった音がする。(調理中の音は除く。)	お買い上げの販売店にご相談ください。	-

9 故障かな?と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください	参照ページ
ふたとっ手、 なべのパッキンから 蒸気もれる (圧力調理・ オート圧力調理)	パッキンが正しく取り付けられていますか。	パッキンを正しく取り付けてください。	8・14・ 16・20
	なべや圧力ふたに異物がついていませんか。	異物を取り除いてください。	-
	なべや圧力ふたが変形したり傷ついていませんか。	お買い上げの販売店にご相談ください。	-
	パッキンが消耗していませんか。	お買い上げの販売店にご相談ください。	-
おもりや圧力ふたと なべの間から煮汁・蒸気が ふき出す (圧力調理・ オート圧力調理)	圧力ふたが確実に しまっていますか。	圧力ふたは、正しく確実に しめてください。	8・14・ 16
	調理物の量が多すぎませんか。	材料の分量は最高水位以下に してください。 豆るいの場合の分量は、 豆るいの目盛以下にしてください。	8・14・ 16
	材料に対して水の量が 多すぎませんか。	水の量を減らしてください。	-
	圧力がかかっているときに急に おもりをはずしていませんか。	必ず蒸気が出ないことを確認 してからおもりをはずしてください。	10・15・ 17
おもりや圧力表示ピンの通 気孔から2～3分間蒸気が もれる (圧力調理・オート圧力調理)	圧力が安定する前に、おもりや圧力表示ピンの通気孔から2～3分間蒸気もれることがあります、異常ではありません。		10・15・ 17
おもりから5分以上 蒸気が強くふき出す (圧力調理・ オート圧力調理)	圧力ふた・おもりは正しく確実に セットされていますか。	圧力ふた・おもりを正しく確実に セットしてください。 それでも強くふき出すときは、 お買い上げの販売店にご相談ください。	8・9・ 14・16
うまくつけない (煮えすぎる・生煮え・ 水っぽいなど)	材料の分量を 間違っていますか。	別冊の「クッキングブック」を ご参照ください。	-
	調理を間違っていないですか。	圧力調理・オート圧力調理・加熱調理が 選択できます。 料理にあった調理方法を選んでください。	8・17
	なべは本体に正しくセットされて いますか。	なべを本体に正しく セットしてください。	9・12・ 14・16
	調理時間を間違っていないですか。 (圧力調理のみ)	別冊の「クッキングブック」を ご参照ください。	-
	メニュー選択を間違っていないですか。 (オート圧力調理のみ)	正しくメニュー選択してください。	14・16
	炊込みごはんをつくる場合、 具と米を混ぜて 炊いていませんか。	具は米の上ののせて調理してください。	-
	砂糖などを溶かしてから 入れていますか。	砂糖などはあらかじめ溶かして 加えてください。	-
保温経過時刻が点滅する	3時間以上、保温を続けて いませんか。	保温時間が3時間を超えると、 「3」が点滅してお知らせします。	18
本体内に、水や米などが 入ってしまった	故障の原因になりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。		-
樹脂などのにおいがする	使いはじめたばかりでは ありませんか。	ご使用とともに少なくなります。	-
プラスチック部分に 線状や波状の箇所がある	これは樹脂成形時に発生する線状や波状の跡です。 使用上の品質に支障はありません。		-

仕様

電 源	100V 50-60Hz	
消 費 電 力	1300W	
炊飯容量 (L)	白米	0.18～0.9(1～5合)
	玄米	0.18～0.9(1～5合)
調 理 容 量 (L)	2.3	
満 水 容 量 (約L)	3.5	
外形寸法 (約cm)	幅	33.2
	奥行	24.1
	高さ	24.2
質 量 (約kg)	4.3	
コードの長さ (約m)	1.8	

「取消」の状態での消費電力は約2Wです。
圧力調理装置作動圧力:98kPaゲージ圧。

消耗品について

パッキン類は消耗品です。使いかたによって差がありますが、ご使用にともなって傷んでいきます。汚れやにおい・破損がひどくなったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

オートメニューの調理時間の目安

メニュー				
白米	玄米	五目豆	おでん	豚角煮
26～40分	50～61分	30～39分	34～45分	47～60分

調理時間は、炊飯量、お米の種類、材料の種類や量、室温、水温、水加減、電圧などにより多少異なります。
「五目豆」「おでん」「豚角煮」は、「仕上り標準」選択時。